

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
音楽基礎A 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	柴徳昭			実務 経験	有	職種	作曲編曲エンジニアリング				
授業概要											
譜面の知識を学ぶが視覚的に確認するだけではなく実際に自分で音を出して耳で確認しながら進めることを重視する。知識としての譜面ではなく、実際に自分の曲や演奏にすぐにフィードバックできるように身近な音楽とリンクさせつつの解説で興味を持って理論を習得する。											
到達目標											
音楽を作る、演奏するにあたって必要不可欠な理論的部分をこの授業でクリアにする。楽譜の基本的な読み方からコードの仕組み、コード進行による楽曲の構成の方法、ダイアトニックコードやスケールを理解し、自身が演奏・作編曲する際に役立つような実践的な知識を身につけることを目標とする。											
授業方法											
教科書に沿って講義形式で進行する。教科書は理論の解説と問題集のセットで構成されているので授業前半は講師が解説しながら、実際にピアノを使って音を聴く。学生の席にはピアノがそれぞれ用意されている。実際に自分で音を確認し理解したところで問題集を解くという流れで進めていく。											
成績評価方法											
試験30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、小テスト30%、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
教材の音楽理論ワークブックには問題集が多く記載されているが、別に五線紙ノートを用意してそちらにメモをとること。教材は後日繰り返し練習のためにも使用する。											
教科書教材											
音楽理論ワークブック・配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	テンションの名称と分類										
第2回	テンションリゾルブ										
第3回	テンションサウンドの基本的な構成・解決音と配置										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科	
音楽基礎A 2	
第4回	ダイアトニックコード進行・長音階上の和音構成
第5回	ダイアトニックコード進行・長音階上の主要和音
第6回	ダイアトニックコード進行・長音階上のその他のコード
第7回	ダイアトニックコード進行・長音階上の音階和音進行
第8回	ダイアトニックコード進行・短音階上の和音構成
第9回	ダイアトニックコード進行・短音階上の主要和音
第10回	ダイアトニックコード進行・短音階上のその他のコード
第11回	ダイアトニックコード進行・短音階上の音階和音進行
第12回	平行調関係
第13回	同主調関係・サブドミナントコードと代理コード
第14回	同主調関係・サブドミナントマイナー終始
第15回	同主調関係・トゥーフाइブの変形